



2025年5月7日

ブルーカーゴ株式会社

第90回 2025年4月度安全衛生委員会

開催日 2025年5月7日(水) 11:00~12:00

開催場所 NTN 三重製作所第三会議室

- 1) 全員唱和 (伊藤義博)
- 2) 議事進行 (安全管理者)
- 3) 4月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告・審議事項
 - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (衛生管理者)
 - ②安全パトロール報告 (衛生管理者)
 - ③各部署別月間安全取り組み結果及び計画 (各推進員)
 - ④ヒヤリ・ハット体験状況報告 (各推進員)
 - ⑤労働災害統計報告 (衛生管理者)
 - ⑥報告事項
 - ・フォークリフト運転安全講習実施計画 (安全、衛生管理者)
 - ・社長・管理職による職場巡回 (安全、衛生管理者)
 - ・熱中症予防、熱中症対応フォロー (衛生管理者)
 - ⑦審議事項
 - ⑧要望、意見、連絡等
- 5) 次回 第91回 2025年5月度安全衛生委員会開催日予定
6月5日(木) 11:00~12:00 第三会議室
- 6) 閉会のことば (総括安全衛生管理者)

安全管理の基本理念

- 1)安全は全てに優先する。
- 2)安全なくして生産なし
- 3)生産なくして会社の繁栄なし
- 4)会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 5)安全管理の原点は人間愛と責任感である

安全監督者管理の5大任務

- 1)安全衛生の確保
- 2)品質の維持向上
- 3)生産目標の達成と納期の厳守
- 4)原価低減
- 5)職場の人間関係の向上

平成30年1月6日

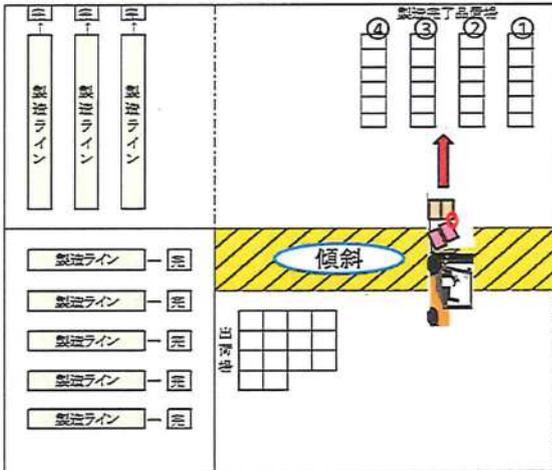
“ご安全に”

(人身、物損) 作業事故報告書

水谷社長 殿		提出日: 2025年 4月 22日		報告者 ブルーカーゴ機		
				新妻利昭 新妻		
分類	1.転落・墜落 ②.転倒 ③.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能					
事故発生	内容	事故内容を簡単明瞭に 出荷準備作業中に製品転倒	発生日時	2025年 4月 21日 (月) 8時 40分		
	場所	発生場所 朝明精工 本社 出荷場	当事者	部署	リフト	
	対象	製品又は対象物 1670-109	車番	朝明精工様 カウンターリフト	天候	晴れ
	内訳	人数×箱数 180本 X 3杯 161本 X 1杯	総会	直近の従業員総会に 参加した ・ 不参加		
事故に至った状況	① 製品置き場で出荷準備の為、カウンターリフトにて製品の仕分け作業を行っていた。 ② 製品置き場、4列目のK1(白袋)、4杯(2段x2列)を2列目のK1(白袋)の前に移動する為爪をさした。 ③ 爪を上昇・チルトUPレバックで移動を始めた。 ④ ライン作業者がウォークリフトにて製品を運搬してきた。 ⑤ スペース確保の為傾斜のあるところまでさらにバックして待機した。 ⑥ ライン作業者が製品を置いて戻ったので前進を開始した。 ⑦ 傾斜部分を乗り越える際に、前方下段のK1の足が鉄板との段差に引っ掛かり前方に転倒した。 ⑧ 後方のK1もバランスを崩した為、リフト操作でリカバリーしようと操作したが間に合わず転倒した。					
原因	・近い距離を移動する予定だったので爪の上昇を5cm程しか行わなかった。(上昇が少なかった) ・後退したことによって傾斜と段差があることを失念していた。		事故	直後対応 ブルーカーゴ: 本人→新妻部長 朝明精工: 本人→杉山副班長 →竹島さん→水越係長		
損害	事故品	[修理・選別・廃棄]	社内での類似事故は?	処理	事故品	
	損害金額	千円	有り	初めて	転倒した製品 全数廃棄	
	対応時間	時間				
再発防止	人的	(人が対応する内容) ・短い距離の移動でも爪の上昇を10cm以上行いチルトUPさせて作業する。 ・事故報告書をもとに内容を周知し再発防止を行います。				
	設備	(設備で対応)				
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く 100%の動作を確実に行い、作業を行って下さい。				日付	4月23日
(写)送付先	総括安全衛生管理者	運行管理者	事務局	安全管理者	衛生管理者	安全推進委員
		—				
注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白 注)②事故発生後2日以内に提出						

事故報告書

BC-R7-01
朝明精工株式会社工場
三重郡川越町大字農田1042-3
2025年4月21日(月)8:40



三重製作所

5 月の交通安全立哨

5 月 12 日(月)~5 月 16 日(金)の 5 日間は、三重製作所の交通安全週間とし、交通安全立哨を実施します。

一時停止すること！



ながら運転しないこと！



白線を跨がないこと！



シートベルトを
着用すること！



多くの命を守るために交通ルールの遵守と
正しい交通マナーの実践を行いましょう！

掲示期間 2025 年 5 月 16 日まで

各部署の月間安全取組

5月7日 安全衛生委員会

	4月				5月		
	前月の目標	取り組んだ内容	結果	安全会議	今月の目標	取り組み内容	安全会議
	目標	実際に行ったこと	目標のが達成できたのか、未達の場合はどうしてか？	実施日	具体的内容に絞って目標を決める。	目標にそった具体的内容で、確認や安全、基本動作等漠然とした言葉は使わない。	日時
輸送	慌てず、焦らず、一息ついて慎重に！	リフト作業は、遅れても良いので、慎重に行う。	皆が慎重かつ安全に作業した結果、事故ゼロを達成した。	4/18	リフト作業時、基本動作を守る。	チルトを運転側に傾ける。 リフト爪と接地面との安全な間(高さ)を確保する。	5/16
リフト	一旦停止場所での確実な停止	停止は3秒止まり、動作始動時に指差呼称を行う。	3秒止まることが、あまり出来ていなかった。	4/16	リフトの近くを通る際は、接触事故にならないよう注意する。	歩行者は、自分の存在をリフト運転者に気づいてもらう。 リフト運転者は、周囲の確認を確実にを行う。	5/21
青山	荷台の足元を確認して作業する。	前回(3月度目標)の唱和を実施し、重要性をその時に一言加える。	唱和に一言加える事によって、80～90%できた。	4/17	クレーン上昇不足による事故ゼロ	クレーン上昇時、指差呼称で確認する。(できれば声掛け呼称)	5/8

ヒヤリ・ハット体験状況 2025年 4月度

No	種類	発生日	場所・状況	職種	作業	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
①	転倒ヒヤリ	3月18日	全般 (七和倉庫)	輸送	リフト運搬	リフトにて4段積みW1を運搬中、最上段W1の脚が十分に掛かっていなかったため、転倒しそうになりヒヤリとした。W1にビニル袋を被せている場合、脚の掛かりが見えないので、リフトを降りてかかり具合を目視で確認する。
②	接触ヒヤリ	3月21日	全般	輸送	リフト運搬	パレットを降ろした時、リフト爪先がパレットから少し飛び出していたため、前方にある段ボールに接触しそうになりヒヤリとした。
3	衝突ヒヤリ	2月	全般 (東浦知多IC)	輸送	トラック輸送	中央分離帯にいた交通管理隊員が路肩に向かって横断してきたので、ヒヤリとした。高速道路で作業している人がいることに注意する。
4	接触ヒヤリ	3月	下野代下り坂	輸送	トラック輸送	下り坂急カーブを走行中、大型トラック対向車がセンターラインをはみ出してきて、バックミラーが接触しそうになりヒヤリとした。カーブは視界が悪いことから、徐行して必要であれば停車する。
⑤	接触ヒヤリ	4月21日	クレーン	青山	クレーン作業	コイル材荷降ろし時に、クレーン上昇不足により荷台にキャリアが接触しそうになりヒヤリとした。
6	接触ヒヤリ	4月18日	NTN三重 出荷場	リフト	リフト運搬	リフト後進時に左後方しか確認していなかったため、右後方から後進してきた長爪リフトに気づかず接触しそうになり、ヒヤリとした。



転倒ヒヤリ(1件)、接触ヒヤリ(4件)、衝突ヒヤリ(1件)

2025 年度(4月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時間数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率	
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療		不休業 災害	休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害	全 災害		
					1日～ 3日	4日 以上	障害	休災 合計		1日～ 3日	4日～ 以上	合計	障害											
					A (人)	B (H)	C (件)	D (件)		E (件)	F (件)	G (日)												H (日)
4 月 度	給油	1	72.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	輸送	16	2,777.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	リフト	19	3,132.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	派遣 NTN三重製作所	3	528.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	派遣 ウチダ	2	352.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	一般	8	1,114.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	段ボール	4	417.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	青山	2	352.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000
	計	55	8,745.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.000

薬箱確認 出荷場(4/24)・本社(4/24)・青山(4/24)

感染状況等	4月	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	0	36
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	
合計	0	52

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
給油		R5.3.16	25	1,666.5
輸送	R7.1.17	R7.1.18	32	5,207.5
リフト	R7.1.21	R7.1.22	38	6,016.5
段ボール	R6.6.14	R6.6.15	34	3,209.5
青山		R5.3.16	53	8,217.5
合計			182	24,317.5

会社全体	事故 発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日～当月15日
無事故時間	R7.3.10	R7.3.11	55	8,745
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	1,563	246,004

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが集計の関係上R5.3.16にしています。

※BC-R4-27(2023年2月20日発生)

重量物持ち上げによる腰痛(脊髄圧迫骨折)

2025年4月24日
管理部 西村 寿洋

フォークリフト安全教育実施の連絡

1. 主旨概要

フォークリフト事故防止を目的に、フォークリフトメーカー専門家による安全運転講習を実施します。受講者は安全確認および正しい基本作業が出来ているかどうか、定性的な基準に基づき判定することで、問題点を見出し今後の事故防止運転に繋がります。

2. 講師

ロジスネクスト中部株式会社 三岐支社四日市北支店 村山真吾様

3. 人数・日時・場所ほか

グループ	出席人数	実演人数	日時 5分前までに集合	場所	対象車種	内容
リフト 青山	23	2	2025年5月21日(水) 17:15~17:45	NTN 三重 出荷場	リーチ	模範実演後、 実技演習
輸送	17	2	2025年5月16日(金) 17:30~18:00	本社 1F 倉庫外	カウンター	模範実演後、 実技演習
段ボール	4	2	2025年5月19日(月) 11:00~11:30	本社 1F 倉庫外	カウンター	模範実演後、 実技演習

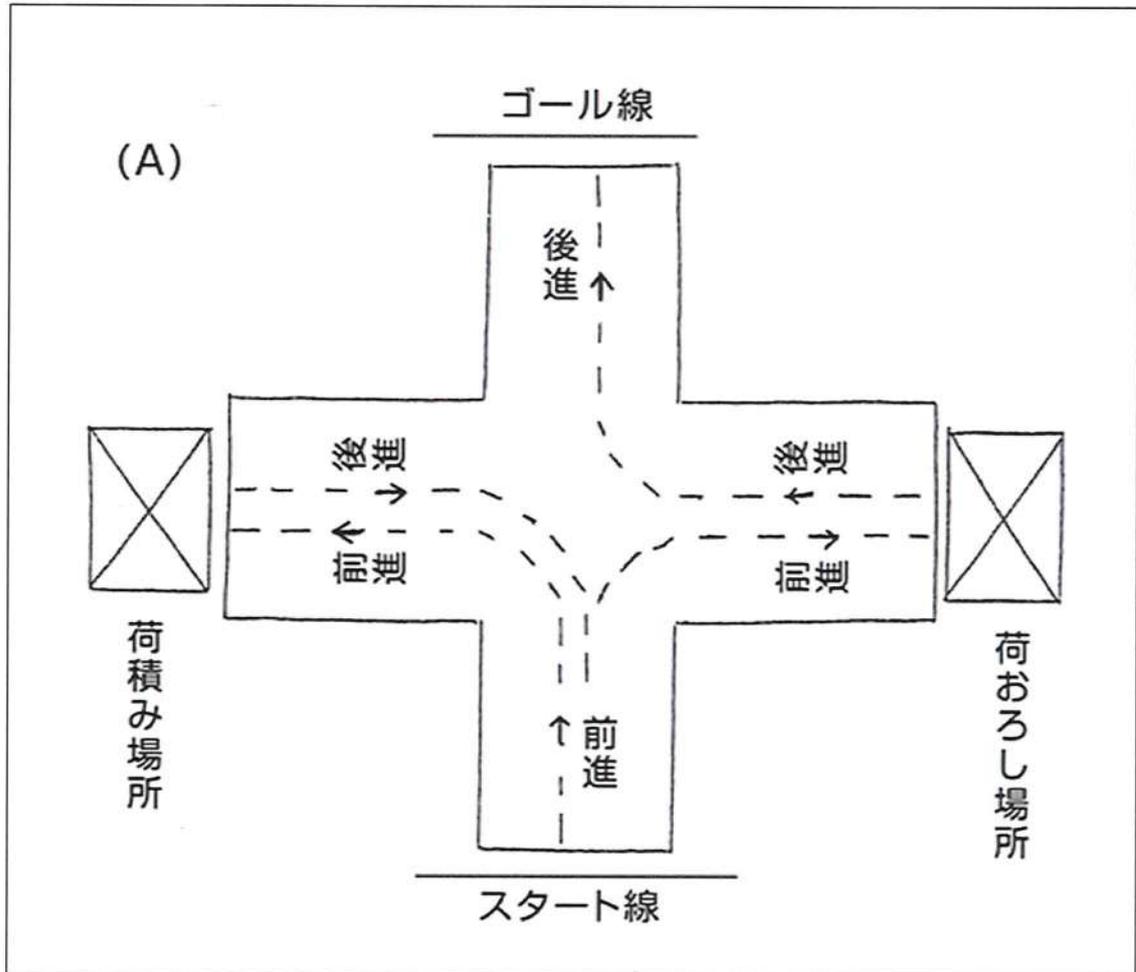
4. 研修内容

(ア) 内容

W1 カゴをリフトにて捌き運搬、整列させます。制限時間内で、事故防止のためのチェックポイントを正確にクリアできているか診断していただき、不適切ポイントについて説明を受け、今後の改善に活かします。実技演習は各グループ代表の2名の方をお願いします。

(イ) 主なチェックポイント

- ① 乗務前の車両・タイヤ・リフト爪の異常有無確認と安全保護具の正しい着用
- ② 始動時の前後左右を指差呼称にて確認
- ③ 上段のW1脚が下段のW1に正しく置かれているか目視確認しているか
- ④ リフト爪のアップダウンとリフト前後進を同時に動作していないか
- ⑤ リフトのチルトを後傾させているか(バックレスト後傾)
- ⑥ 走行運搬時に爪高さ10~20cmを確保しているか
- ⑦ 旋回時は周囲の安全を確認し、徐行しているか
- ⑧ 運転終了後は爪を地面まで下げているか
- ⑨ ※リーチイン・リーチアウト ※リーチのみ対象



〈悪い置き方〉



〈良い置き方〉



社長・管理職による現場巡回の件

(1) 主旨

現業従業員（リフト、輸送）への挨拶や声掛けによる元気出しを社長と管理職が率先して実施して、職場三原則にある「時を守る」「場を清める」「礼をただす」を周知拡散させることを目的とする。本内容は月次定例行事として運用する。

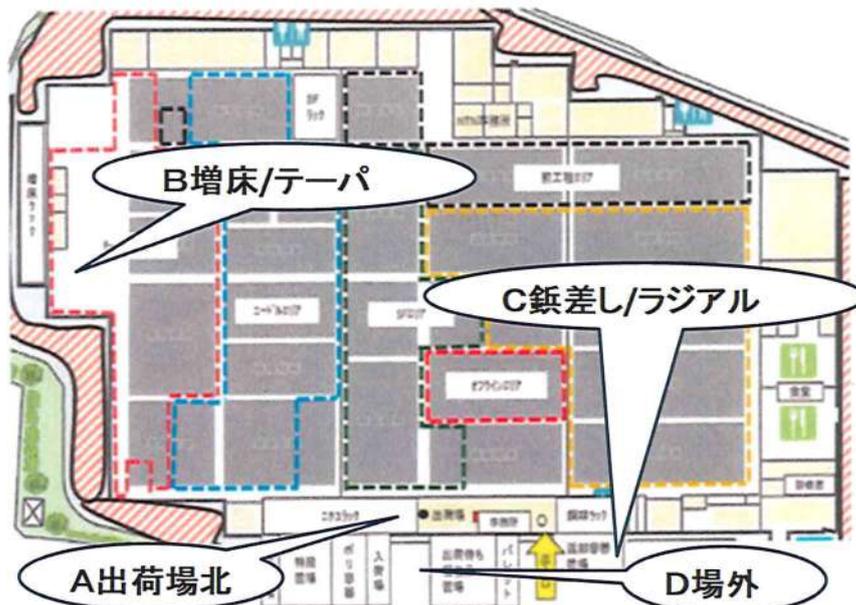
(2) 概要

- ① 日時：**リフトGの月例朝礼実施同日の午後に実施する。**
第1回は5月7日（水）14：30～15：00
- ② 巡回者：水谷社長、新妻部長、福田課長、西村（安全担当、衛生管理者）
2名/1チームで構成、各チームが場所を分かれて巡回する。
出席者が3名以下の場合は、コース1のみを実施する。
- ③ 巡回内容…指摘や指導ではないので、基本はなんでも可
 - ・挨拶…おはよう、こんにちは、お疲れ様、元気ですか
 - ・声掛け…健康ですか、病気（ケガ）治った、寒いな、暑いな
 - ・安全災害…気を付けて、ポケットハンドだめ
 - ・服装…ボタン外れてないか、汚れていないか、破れていないか
 - ・健康状態…顔色、眠気、咳・くしゃみ・涙目

(3) 場所：集合は事務所、各場所の巡回は5分程度

- ・コース1：A出荷場北→B増床・テーパ派遣→Cラジアル派遣・銚差し→D場外
 - ・コース2：D場外→Cラジアル派遣・銚差し→B増床・テーパ派遣→A出荷場北
- 最後は事務所へ集合し気づき点や反省点等の纏め、終了後に解散

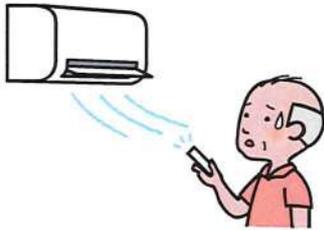
以上



熱中症予防のために

暑さを避ける！

エアコン等で
温度をこまめに調節



遮光カーテン・すだれの
利用、打ち水の実施



外出時には日傘の使用、
帽子の着用



天気のよい日は
日陰の利用、こまめな休憩



吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する！

室内でも、外出時でも、
のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分を補給



熱中症
とは

「熱中症」は、高温多湿な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内でも何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症予防のための
情報・資料サイト

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/

厚労省 熱中症予防



スマートフォンでも見られます



熱中症の症状

- めまい
- 立ちくらみ
- 生あくび



- 大量の発汗
- 筋肉痛
- 筋肉のこむら返り

病状がすすむと

- 頭痛
- 嘔吐
- 倦怠感



- 判断力低下
- 集中力低下
- 虚脱感

応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら（主な応急処置）

エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難



衣服をゆるめ、からだを冷やす
（首の周り、脇の下、脚の付け根など）



経口補水液を補給※



※経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる可能性があります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、指示に従ってください。

自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、ためらわずに救急車を呼びましょう!

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。体調の変化に気をつけましょう。

室内でも熱中症予防!

暑さを感じなくても室温や外気温を確認し、エアコン等を使って温度調節するよう心がけましょう。

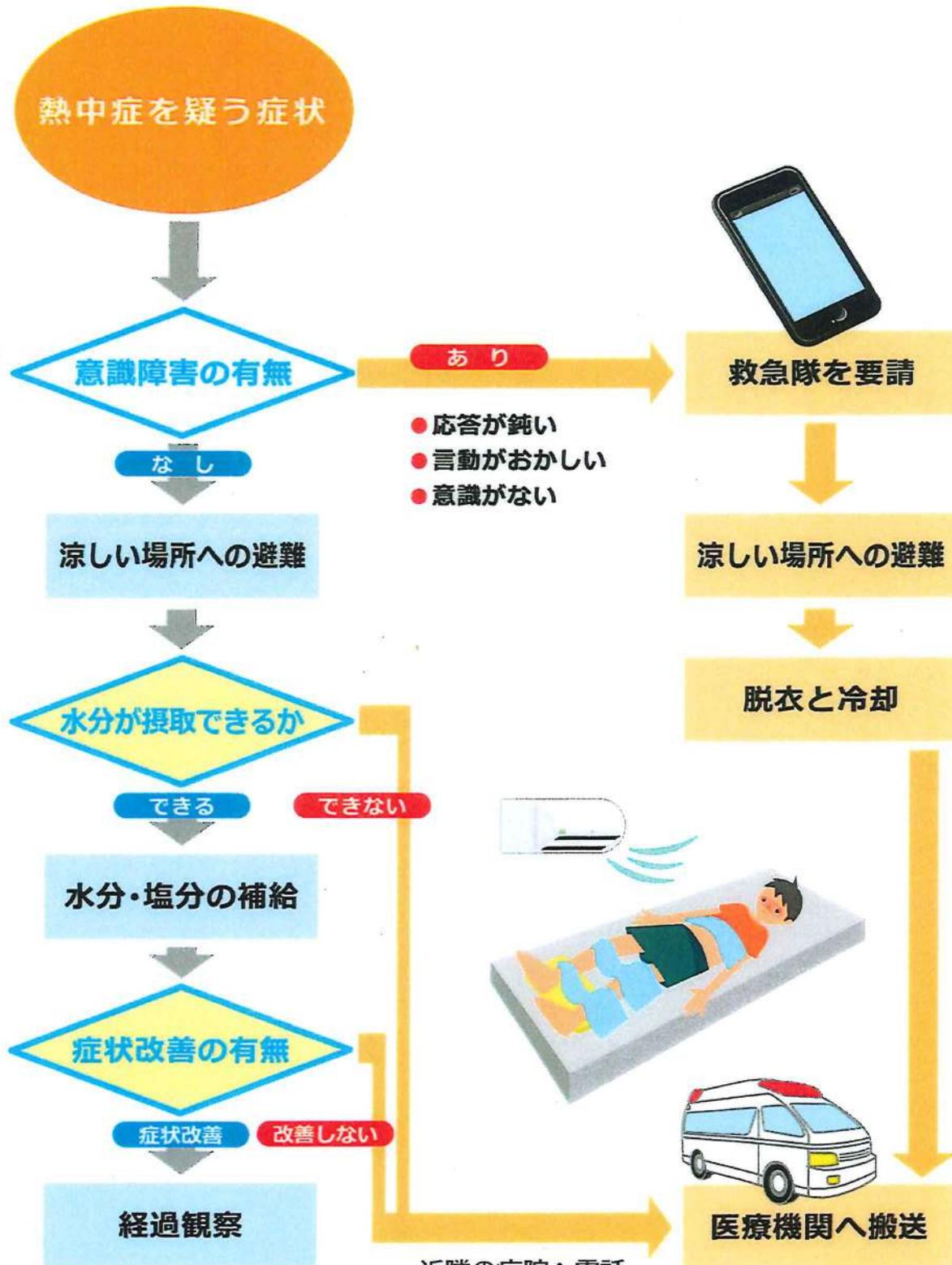
高齢者や子ども、障害のある方は、特に注意が必要!

高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調節機能も低下しているので、注意が必要です。子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

また、障害のある方には、体温調節が難しい場合や、のどが渇いても気づかない、自分で水分がとれない等の場合がありますので、介助者やまわりの方は注意しましょう。

「熱中症」対応フロー

熱中症になってしまったら



近隣の病院へ電話
and
社長に電話